

< 第二段階のニーズを把握するためのインタビューシートの例 >

面談日時 年 月 日

学籍番号 _____ 学部 _____ 学科 _____ 年生 _____

氏 名 _____

1. 障害の状況 _____ 年 _____ 月現在の状況 変更あり 変更なし

1) 身体障害者手帳の有無 あり()級 なし
診断書の有無 あり なし

2) 聴覚障害の程度

裸耳(※) 右()dB程度 左()dB程度

装用時 右()dB程度 (補聴器使用/ 人工内耳使用)

左()dB程度 (補聴器使用/ 人工内耳使用)

※裸耳:補聴器や人工内耳等を装用していない状態のこと

【きこえる声の大きさレベルの参考】

30dB ささやき声

40dB 静かな会話

60dB 普通の話し声

80dB 大きな声の会話

100dB 耳元での叫び声

3) コミュニケーション手段

聴覚と口話(こうわ)

自分の音声を用いて発言

筆談

手話

その他 ()

2. 大学生活上のニーズについて

1) 大学生活上の困難について、感じていることはありますか？

- 固有名詞や用語の聞き間違いがある
- 雑音下の会話が聞き取りにくい
- ビデオ音声やマイク音声が聞き取りにくい
- 口形がはっきりしていないと理解できない
- 音声がときどき聞き取れない
- 音声がほとんど聞き取れない
- 音は感じ取れるが、音声として理解できない
- グループディスカッションや複数人での会話に困難がある
- その他

2) 授業毎のニーズ把握

ノートテイク

- ① 臨場感も含めできる限り書きとってほしい
- ② 要約して書いてほしい
- ③ 箇条書きにして書いてほしい
- ④ 資料やテキストにポイントを書き込んでほしい
- ⑤ 誰が何を発言したか、特に話題の中心が何かわかるように書いてほしい

パソコンノートテイク

- ① 誤字脱字はそのまま構わないので、聞き取った情報をより多く入力してほしい
- ② 話し言葉のとおりではなく、文章を整えて入力してほしい
- ③ 要約して入力してほしい

手話通訳

- ① 日本手話で表現してほしい
- ② 日本語対応手話で表現してほしい
- ③ 専門用語の表現確認をしてから始めてほしい

その他

- ① スライド等の資料がほしい
- ② 座席を前列にしてほしい
- ③ FMマイクを使用してほしい
- ④ その科目を履修したスタッフまたは同じ学部のスタッフを派遣してほしい
- ⑤ 映像の字幕付けをしてほしい
- ⑥ 会話がかぶらないように、また発言の際は挙手してほしい
- ⑦ その他

(例)

月曜日 3限「心理学」テキストとパワーポイントがあるので ノート②④、その他① を希望

月曜日 4限「スペイン語」話すスピードが速く専門用語が混じるので パソコン①、その他④

を希望

____ 曜日 _____ 限 科目 「 _____ 」

なので _____ を希望